

ニンジン

ニンジン独特の匂いなどから子どもの好き嫌いが多く食材のひとつとしても知られていますが、「緑黄色野菜の王様」と呼ばれるほどカロテンやビタミン、食物繊維、ミネラルなど、多くの栄養素を含んでいます。



作型

作りやすいのは、夏まきで11月～12月収穫の栽培である。畑は早めに完熟堆肥と石灰を施し、15～20cmの深さに耕す。順調に生育させるには、本葉2枚目までと、根の肥大期にあたる本葉6枚目頃の水やりが大切。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
夏まき	■	■	■					○	○			■	向陽二号・夏蒔鮮紅五寸・金時人參 黒田五寸

○：種まき ■：収穫

畑の準備・定植

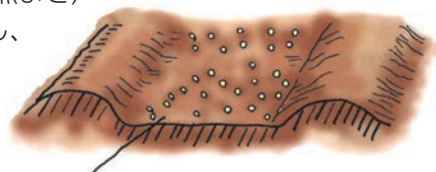
土づくり a当たり

堆肥 300kg
セルカ(有機石灰) 10kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合

元肥 a当たり

醗酵鶏糞 20kg
畝立時施用

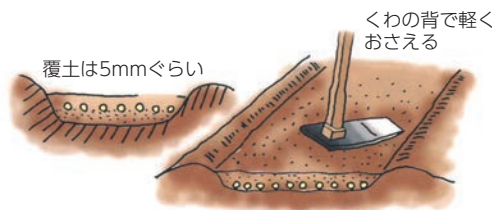
- ・2条まき：畝幅80～90cm(条間30cm) 10cm程度の巻き溝を作る。
- ・十分灌水してから種をばらまきし、薄く覆土(4～5mm)後、鎮圧する。(コーティング種子は10cm間隔で点まき)
- ・発芽まで乾燥を防ぐため十分灌水し、切りわら並びに寒冷紗をべたがけするとよい。



種は溝いっぱいにはらまきする。

間引き・追肥

- ・本葉1～2枚時：こみ合っているところを間引く。
- ・本葉3～4枚時：5cm間隔に間引く。
- ・本葉6～7枚時：7～8cm間隔に間引き、追肥する。
- ・2回目の間引き後から追肥、土寄せを行う。(追肥は1回目と反対側に施す)
(追肥の量：それぞれ野菜専用肥料4～5kg/a)



覆土は5mmぐらい

くわの背で軽くおさえる



間引き1回目



間引き2回目



間引き3回目

防除

病害虫名	耕種防除	
黒葉枯病	発病株を除去する。 肥切れしないようにする。	ダコニール1000(1,000倍) 7日前まで5回 Zボルドー(500～800倍)
軟腐病	高温時の播種を避ける。	Zボルドー(500倍)
ヨトウムシ	早期に発見し、分散前に捕殺する。	ランネート45DF(1,000倍) 前日まで2回

収穫

- ・発芽後110～120日位で収穫の目安とする。
- ・太くなったものから順に抜き取る。
- ・穫り遅れないように注意する。



ハクサイ

一年中出荷されているハクサイの旬は、お鍋がおいしくなる晩秋から冬にかけて。今では食卓になくってはならない野菜ですが、結球したハクサイが全国に広まったのは大正から昭和の初めと、まだ新しい野菜です。



作 型 10月中旬～1月中旬頃まで計画的に収穫できるよう、早生と中晩生品種を組み合わせる。害虫は、初期防除を徹底する。結球開始期には、乾燥しないようにする。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
秋 植 え									○		■	■	黄ごころ・金将・錦秋

○：種まき ■：収穫

畑の準備・定植

土づくり a当たり	
堆 肥	400kg
セルカ (有機石灰)	15kg
植え付け1ヶ月前に土と良く混合	
元 肥 a当たり	
BMようりん	8kg
野菜専用肥料	10kg
醗酵鶏糞	30kg
畝立時施用	

- 2条千鳥植え：畝幅120～150cm
- 株間40～45cm (条間45cm)
- 種子は1ヶ所に3～4粒まき (重ならないように) 薄く (5mm) 覆土後、鎮圧する。
- 欠株の補植に、ポットなどで育苗しておくとうい。

間引き・追肥・土寄せ

- 本葉1～2枚時：間引いて2～3本立ちとする。
- 本葉5～6枚時：間引いて1本立ちとし、その後追肥 (野菜専用肥料5～6kg/a) し、軽く土寄せを行う。
- 結 球 開 始 時：追肥する。(野菜専用肥料6～8kg/a)



防 除

病害虫名	耕 種 防 除	薬 剤 防 除
コ ナ ガ ア オ ム シ ヨ ト ウ ム シ	幼虫の捕殺 防虫網を張る 早期に発見し、幼虫の分散前に捕殺する	アフーム乳剤 1,000倍 収穫7日前まで 3回 トレボン乳剤 1,000倍 収穫7日前まで 3回
べ と 病	通風をよくする 発病葉を取り除く	プロポーズ顆粒水溶剤 1,000倍 7日前まで 2回

寒さの防止

- 霜の被害を受けないように、結球が終わった頃、ビニールひもまたは、わらなどで外葉を包み込むように縛る。



わらやビニールひもで結束する。結束が早いと生育が悪い。おそいと凍害を受ける。

収 穫

- 結球の頭を手で押さえて、葉に緩みがなく固くしまった感じであれば収穫。